

医師・研究者キャリア支援センター 活動報告書

自治医科大学
2017

はじめに

医師・研究者キャリア支援センター長 挨拶
小宮根真弓 皮膚科学 教授



医師・研究者キャリア支援センターは、平成19年に、女性医師支援センターとしてスタートしました。平成24年度から、支援の対象を女性医師のみならず男女の医師・研究者に拡大し、現在の医師・研究者キャリア支援センターとして活動しています。

2016年度より、当センターの活動を報告書にまとめることにしました。2017年度も、自治医大の職員の方々が、より快適に仕事を続けていくことができるように、職場の環境改善を目指しています。

次世代医師・研究者交流会では、医師、研究者の方々の仕事に対するモチベーションを高めて頂けるようなお話を、著名な先生を講師としてお呼びして、ご講演頂いています。2017年度は、天皇の手術をされた天野篤先生をお呼びしました。天野先生の熱い講演には、多くの医師や学生が刺激を受けたと思います。働き方を考えるセミナーには、女性医師を含む医師、研究者の働き方を考えるきっかけとなるようなお話をしていた頂けるような先生をお呼びしています。今回は、5人のお子さんの母親であり産婦人科医、大学で准教授として活躍されている吉田穂波先生をお呼びしました。時間がないから何でもできる！という吉田先生の生き方に、元気をいただけるようなお話でした。お二人とも大変お忙しい中、自治医大のためにご講演頂き、大変感謝しております。多くの職員の方々と学生にご参加いただき、活発な意見の交換がありました。今後も、多くの方々に興味を持っていただけるような講演会を継続していきたいと考えています。

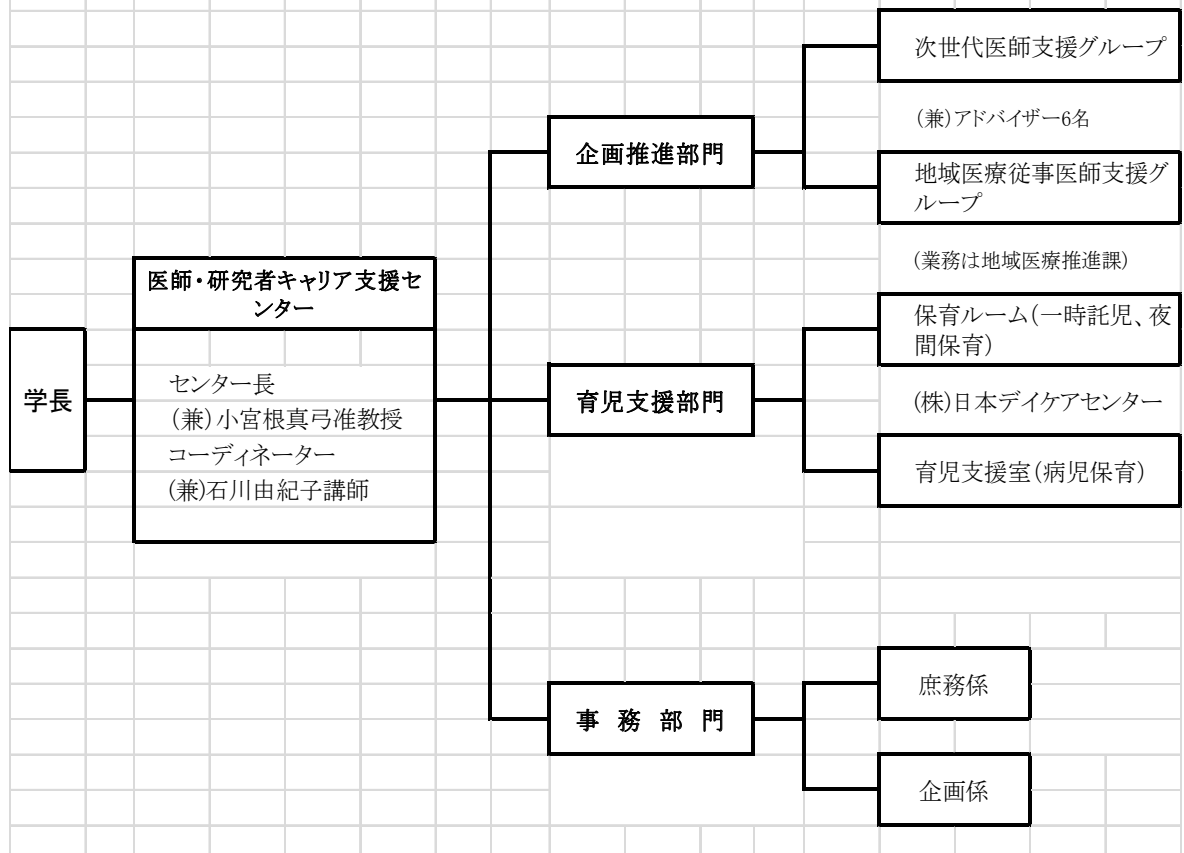
Jichi Joy Café(JJC)は2016年度より、総合診療内科の石川由紀子先生が中心になって始めた活動です。2017年度は昨年度に引き続き3回行いました。キャリアの継続と家庭の両立について情報交換し、働きやすい職場づくりについて考えるための交流会として、あるいは同じ大学に勤務し、同じ悩みを共有できる仲間のネットワークづくりに、多くの職員の方々に利用していただければと思っています。

保育ルームあいりすでは、一時保育、病児保育、夜間保育、送迎サービスや自宅保育をこれまで通り継続して行っています。2017年度も多くの利用者がありました。20時間の短時間勤務制度の利用者も増えてきましたが、2017年度の利用者は全員女性医師でした。男性医師も同様に利用できる制度なのですが、実際には男性の利用者が全くいないのは、自治医大だけでなく全国的な構造的な問題ということでしょうか。職場や育児に関する悩み事にも個別に相談に乗っていますが、医局の体制と育児をしながらの勤務との間に生じるさまざまな問題点が浮かびあがってきます。

2017年度は、2年ぶりにAll Jichi Projectを開催しました。各科の垣根を低くし、おたがいに気軽にコンサルトできるような雰囲気を作ること、そして自治医大職員全員が一丸になってこれからの進路を歩んでいけることを目的としています。今回も、研修医の先生が中心となって会を盛り上げて頂き、研修医の先生方の生の声を聴くことができました。

今後も、より充実した支援体制・活動を目指してまいります。当センターを最大限に活用していただければ幸いです。

医師・研究者キャリア支援センター体制



スタッフの紹介

- ・センター長 小宮根真弓 (皮膚科学准教授)
- ・コーディネーター 石川由紀子 (地域医療学センター講師)
- ・アドバイザー 山形 崇倫 (小児科学教授)
- ・アドバイザー 黒須 洋 (抗加齢医学研究部准教授)
- ・アドバイザー 小川 真規 (保健センター准教授)
- ・アドバイザー 鴨下 信彦 (病態生化学講師)
- ・アドバイザー 小形 幸代 (循環器内科学講師)
- ・アドバイザー 川合 志奈 (小児泌尿器科病院助教)
- ・園医 熊谷 秀規 (小児科学准教授)
- ・園長 上野 久子 (看護副部長)

➤ H29 年度 活動状況一覧

- 1 次世代育成支援 ○ 次世代医師・研究者講演会 (2/9)
 順天堂大学順天堂医院院長 天野篤氏

- 2 就業継続支援・復職支援 (随時)
 勤務継続のためのカウンセリング、コーディネート
 短時間勤務者フォロー
 Jichi Joy Café (6/27, 11/17, 3/23)
 ○ 「働き方を考えるセミナー」講演会 (10/19)
 神奈川県保健福祉大学 吉田穂波氏

- 3 育児支援 保育ルーム「あいりす」を運営し、一時託児・
 ルーム外保育を実施
 医学部1年生保育ルーム見学 (5/29, 30)
 夜間保育・病児保育を実施
 First Aid 講習会 (6/23)
 パパとママの子どもの食事の話 (10/3)
 子どもの病気のホームケア (11/29)
 サポート会員懇親会 (1/26)
 BLS 研修会 (12/4, 8, 11, 21)
 夏祭り (8/5), クリスマス会 (12/25)

- 4 地域医療従事医師支援 本学卒業生のワークライフバランスを考える会
 (地域医療推進課で実施)

- 5 附属病院事業 All Jichi Project (若手医師交流会) 9/21

- 6 広報誌発行 ニュースレターの発行 (4 回)



次世代育成支援

医師・研究者キャリア支援センターでは、若手医師や研究者、大学院生間の交流を深め、多様なキャリア形成や研究を推進するために、若手医師・研究者の企画による「次世代医師・研究者交流会」を行っています。



主催：自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター
お問合せ：TEL：0285-58-7561 内線：2448 FAX：0285-44-8627
e-mail：career-support@ichi.ac.jp

2017年度は、平成30年2月9日に、心臓外科医として、6千例以上の手術実績を持つ順天堂大学医学部附属順天堂医院院長 天野篤氏をお迎えし、医師や研究者との「交流会」、全職員、学生及び学外者を対象とした「講演会」を開催しました。

講演会前に開催した「交流会」では、医師や研究者からの懇談の中で、大事なことは、自分を客観視すること、結果を引きずらないこと、care と cure を重んじること、貧しい人たちへの医療の重みを知ること、組織と個人の突破力も必要とのアドバイスを頂きました。



引続き研修センター大講堂で講演会が開催され、関心の高さから、教職員、学生及び学外者 計 332 名が聴講しました。

講演会は、先生の体験に基いた熱い講演でした。患者を絶対に救おうとする手術へのこだわり、そのためにどうすべきか、また真にぶれない心、医師としてのモチベーションの持ち方、医療技術、医療知識の他、医療安全や感染対策に気を配ること、医師として何を目指すべきか等、時々ユーモアを交えての約 1 時間の講演でした。



講演会後のアンケート結果からは、勉強になった、やる気がでた、目指すべき医師を考えるきっかけとなった、熱意が伝わってきた、プロフェッショナルとバイタリティーを感じた、感銘を受けた、患者第一主義という医師としての責任感を感じた等、多くのポジティブな感想が寄せられました。



講演会後の懇親会場でも、会場に入りきれない程の盛況ぶりでした。天野先生は、学生たちの質問にも熱くお答えされていました。

就業継続支援・復職支援

1 平成 29 年度 アドバイザー等による相談受付

勤務継続支援に関する相談（8 件）を行った。

2 マタニティ白衣のレンタル

女性医師を対象に、妊娠中に使用するウエストが調節可能なコートタイプのマタニティ白衣のレンタル（無料）を行った。数年前から、半袖タイプ白衣を導入し、長袖Lを増やし、ニーズに応えられるようにしている。

（平成 29 年度利用者 5 名）

3 J I C H I J O Y C A F E の実施

当センターの活動の大きな柱の一つとして、キャリアの継続と家庭の両立について情報交換し、働きやすい職場づくりを考えることを目的に、毎回テーマを決めて開催している。対象者は、原則として医師、研究者、学生である。平成 29 年度は、3 回開催した。

4 「働き方を考えるセミナー」の開催

平成 29 年度から、「ワークライフバランス講演会」の名称を「働き方を考えるセミナー」と変更して開催した。当年度は、「時間がないから何でもできる」と題して、学外から講師を招聘して、講演会及びディスカッションを行った。

※ 復職支援として、メディカルシュミレーションセンターの医療安全プログラム及び医療技術トレーニング部門の教育プログラムの紹介を行っている。



第4回 Jichi Joy Café

みんなで考えよう!

～キャリアを継続させる/ウハウ～

日時：平成 29 年 6 月 27 日(火) 12:15～13:45

場所：医師・研究者キャリア支援センター内会議室

(自治医科大学 2 号館 2 階)

出産や育児・介護の問題や健康問題と悩みは人それぞれ…

キャリア継続が困難な時あなたはどのように対応していますか？

集まってアイデアを共有しませんか？

働きやすい職場にするため、皆様のご参加によるご協力を願いたします♪

☀ 今回のテーマ ☀

- ・ 何が困難にないうるか？
- ・ 困難を乗り越えるための/ウハウ

参加対象：医師・研究者・学生

※ 初めて参加される方や男性のご参加もちろん大歓迎です♥

内 容：

☂ 自己紹介
☂ 講話 「キャリア継続困難に直面したとき」

研究者として ～

神経脳生理学部門 講師 高柳 友紀 先生

医師として ～

地域医療学センター 講師 石川 由紀子 先生

☂ グループディスカッション

◎お申込は6月 20 日(火)迄に下記メールアドレス又は、お電話にて医師・研究者キャリア支援センター 担当 青木・長瀧までご連絡下さい。

!! 心ばかりの昼食をご用意してお待ちしております！

主催

自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター

＜お問合せ＞

TEL：0285-58-7561 内線 2448 FAX：0285-44-8627 e-mail：career-support@jichi.ac.jp

「第4回 Jichi Joy Café」開催結果報告

平成29年6月27日(火)2号館2階医師・研究者キャリア支援センター会議室に於いて、第4回 Jichi Joy Café を「みんなで考えよう！～キャリアを継続させるノウハウ～」と題しまして、下記により開催致しました。

実体験を基に得たキャリア継続のノウハウやご意見は大変説得力のあるもので、これからキャリア形成を考える学生さんやキャリア継続に少しでも不安をお持ちの方にとっても参考となりました。また、今回初めて男性のご参加もいただきまして、様々な立場からの意見交換をしたことも良い収穫となりました。

記



1. 開催内容

みんなで考えよう！～キャリアを継続させるノウハウ～

出産や育児・介護の問題や健康問題と悩みは人それぞれ・・・

キャリア継続が困難な時あなたはどのようにしますか？また、周囲はどのように対応していますか？

集まってアイデアを共有しませんか？

働きやすい職場にするため、皆様のご参加によるご協力を願います♪

2. 当日タイムスケジュール

- | | | |
|-----------------------|------------------|--------------|
| ① あいさつ | センター長 小宮根 真弓 | 12:15～ |
| ② 「キャリア継続困難に直面した時」 | | 12:20～ |
| | 医師として～ 地域医療学センター | 講師 石川 由紀子 先生 |
| | 研究者として～ 神経脳生理学部門 | 講師 高柳 友紀 先生 |
| ③ 集合写真撮影 | | 12:50～ |
| ④ 自己紹介・日々をのりきるためのノウハウ | | 12:55～ |
| ⑤ フリートーク | | 13:25～ |



第5回 Jichi Joy Cafe



ダイバーシティの推進に

ついて考えましょう～

いろいろな立場から
新しい視点で考えよう

働き方の多様化?

みんなで作ろう～
働きやすい職場

日時: 平成 29 年 11 月 17 日 (金) 12:30～14:00

場所: 自治医科大学 2 号館 2 階

(医師・研究者キャリア支援センター内 会議室)

参加対象: 医師・研究者・学生

♪ 初めて参加される方や男性のご参加もちろん大歓迎です ♪

《内 容》

①継続して働くためのノウハウは？

②介護！！その時あなたはどうする・・・

・自己紹介

・講話：分子病態治療研究センター（抗加齢医学研究部）

准教授 黒須 洋 先生

患者サポートセンター 入退院支援室

内科学講座（血液学部門）

講師 上田 真寿 先生

・フリートーク

◆お申込は 11 月 10 日（金）迄に下記メールアドレス又は、お電話にて医師・研究者キャリア支援センター 担当 青木・長瀧までご連絡下さい。

!! 心ばかりの昼食をご用意してお待ちしております!!

主催

自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター

<お問合せ>

TEL : 0285-58-7561 (内線 2448) FAX : 0285-44-8627 e-mail : career-support@jichi.ac.jp

「第5回 Jichi Joy Café」開催結果報告

平成29年11月17日(木)医師・研究者キャリア支援センター会議室に於いて、「ダイバーシティの推進について考えよう～」と題しまして、第5回 Jichi Joy Café を開催致しました。

今回は、男性の先生を講師にお迎えいたしまして、いつもとは違った視点から貴重なお話を伺うことが出来ました。また、家族の介護に正面から向き合いながらも医師としての勤務を継続されたお話や、医局内においての女性医師の働き方の工夫事例は、参加者全員に大変参考となるものでした。

今後、皆様の貴重なご意見を集約できるように、引き続き活動を続けていきたいと思います。



記

1. 開催内容

・ダイバーシティの推進について考えよう～

- ・働き方の多様化？
- ・いろいろな立場から新しい視点で考えよう
- ・みんなで作ろう～働きやすい職場

2. 当日タイムスケジュール

- | | | |
|----------------------|--------------|--------|
| ① あいさつ | センター長 小宮根 真弓 | 12:30～ |
| ② 講話 | | 12:35～ |
| ●「継続して働くノウハウは？」 | | |
| 抗加齢医学部研究部 | 准教授 黒須 洋 先生 | |
| ●「介護！！その時あなたはどうする……」 | | |
| 患者サポートセンター | 入退院室長/内科学講座 | 血液学部門 |
| | 講師 上田 真寿 先生 | |
| ③ 集合写真撮影 | | 13:05～ |
| ④ フリートーク | | 13:15～ |

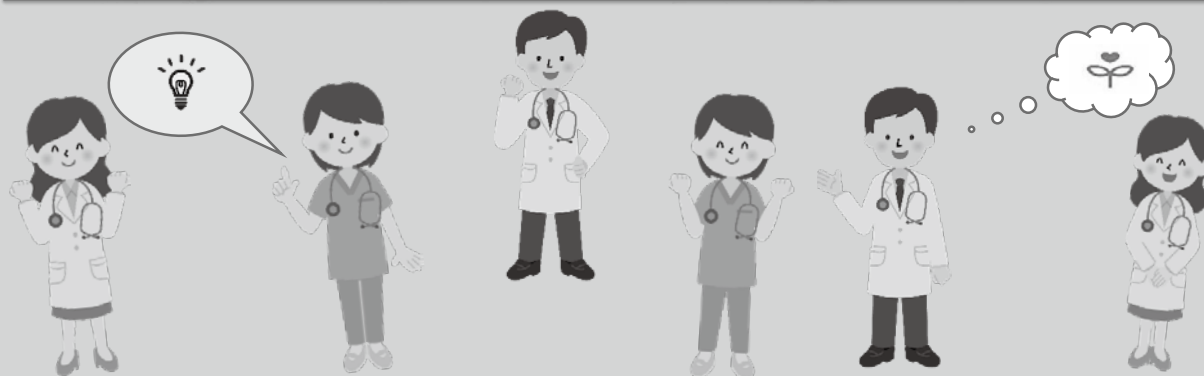
第6回 Jichi Joy Café



日時：3月23日（金） 12:30～14:00

場所：地域医療情報研修センター1階 第1研修室

現場でのとりくみを共有しよう～



男女共に働き方やキャリア継続について考える時期を迎えています。
各医局・研究室ではどうしている？
これからどうしたらいい？を一緒に考えてみませんか？

参加対象： 医師・研究者・学生 ※初めて参加される方や男性のご参加也大歓迎です♡

講 話

「産婦人科での女性医師の働き方の現状と取り組み」

産科婦人科教授・・・・・・・・藤原寛行先生

ディスカッション

各医局・研究室での働き方に関する情報の共有に向けて

※お申込は3月13日（火）迄に下記メールアドレス又は、お電話にて医師・研究者キャリア支援センター 担当 青木・長瀧までご連絡下さい。

!! 心ばかりの昼食をご用意してお待ちしております!!

<主 催>

自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター

<お問合せ>

T E L : 0285-58-7561 (内線 2448) FAX : 0285-44-8627
e-mail : career-support@jichi.ac.jp

第6回 Jichi Joy Café 開催結果報告

平成30年3月23日(金)地域医療情報研修センター第1研修室に於いて、テーマを「各医局・研究室での働き方に関する情報の共有に向けて」として、第6回 Jichi Joy Café を開催致しました。

今回は、産婦人科の藤原寛行先生をスペシャル講師にお迎えして、「産婦人科での女性医師の働き方の現状と取り組み」をご講話いただきました。講話は、産婦人科医師数の不足を発端とした、同科の就労支援対策の具体的な取り組み事例をご紹介いただきました。産婦人科の取組は、①現状を知る ②お互いがお互いの立場を尊重する ③歩み寄る(対立構造を作らない)を念頭に、育児中の女性医師も他の医局員もどちらもが居心地良く仕事を継続できる環境作りの構築に、力を入れた取り組みを実行しているものでした。まだ、取組期間が浅いとの事で大きな成果には繋がっていないと、藤原教授は謙遜されていたようですが、それぞれの家庭環境を配慮してくれる、理解してくれる上司の存在こそが医局員の大きなパワーとなる事は間違いないと強く感じました。皆様の貴重なご意見や情報を当センターより少しでも発信できるように、引き続き活動を続けていきたいと思います。

記

1.開催内容

・現場でのとりくみを共有しよう～

男女共に働き方やキャリア継続について考える時期を迎えています。
各医局・研究室ではどうしている？
これからどうしたらいい？を一緒に考えてみませんか？

2.当日タイムスケジュール

- | | | |
|---|--------------|--------|
| ① あいさつ | センター長 小宮根 真弓 | 12:30～ |
| ② 講話 | | 12:35～ |
| ♣ 「産婦人科での女性医師の働き方の現状と取り組み」
産婦人科学 教授 藤原 寛行 先生 | | |
| ③ ディスカッション | | 13:05～ |
| ④ 集合写真撮影 | | 13:55～ |





2017.10.19(木) 18:00～19:15

会場 / 自治医科大学 教育研究棟 講堂

自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター

働き方を考えるセミナー

メインテーマ **～自分らしく輝くために～**

あなたの考え方次第で未来が変わる！？

対象：全職員、一般（どなたでもご参加いただけます）

第1部 講演

「時間がない」から、なんでもできる！ 吉田 穂波 先生

神奈川県立保健福祉大学 准教授/産婦人科医

第2部 グループディスカッション・懇親会(事前申込)
レストラン「西洋堂」 19:25～20:30

グループディスカッションで

吉田先生とお話するチャンス♦♦



吉田穂波（よしだ・ほなみ）先生

産婦人科医/ 医学博士/ 公衆衛生学修士

三重大学医学部卒業。聖路加国際病院で臨床研修のち、名古屋大学大学院で博士号を取得。3児を育てながら留学しハーバード公衆衛生大学院修了。

東日本大震災で災害時の母子救護の必要性に気づき、その後6年間にわたり全国の医療機関や自治体で災害時母子救護事業立ち上げに尽力。国立保健医療科学院主任研究官を経て、現在は神奈川県にて母子保健支援、イノベーティブな保健医療政策の推進と人材育成に携わっている。

3歳から12歳まで4女1男の母。

著書に『「時間がない」から、なんでもできる！』

「ママドクターからの幸せカルテ（共訳）」

ほか多数。

第2部 グループディスカッションは、事前申込制となります。（先着40名）

ご参加希望者は、下記「医師・研究者キャリア支援センター」までお電話又はメールにて、お申し込みください。（保育ルーム託児利用可・事前申込要・限定数）

【主催】

自治医科大学

医師・研究者キャリア

支援センター

＜お問い合わせ＞

TEL：0285-58-7561

内線：2448

FAX：0285-44-8627

e-mail:careersupport@Jichi.ac.jp



「働き方を考えるセミナー」の開催について

平成 29 年 10 月 19 日(木)自治医科大学にて、働き方を考えるセミナーを開催し、講師として、5児のお母様で、産婦人科医である、神奈川県立保健福祉大学の吉田穂波先生をお呼びしました。第一部の講演会には、94 名の皆様に足を運んでいただきました。

講演は、吉田先生のこれまでの実体験を交えながら、キャリア形成の過程におけるポイント等についてご講演頂き、また「受援力の強化練習」という参加型のロールプレイを聴衆対象に行いました。そうすることで、人に頼ることが人間関係の基本であり、コミュニケーションのきっかけを作ることがいかに大事であり、人は相談されるとうれしい感情をもつことを再認識させられ、家族と仕事とプライベートのバランスを考えるヒントを得られる内容でした。

第二部のグループディスカッションは、医大生、大学院生、研究生、医師・研究者・看護師、また栃木市・宇都宮市からもこられて約 30 名に参加いただきました。そして究極の我がイクボス、学長・副学長・院長もグループに参加して頂きました。“働き方で悩んでいること”“将来こんな風に働いていた”を立場は違いますが共有できました。受援力を育てることが出来れば、お互いの立場を超えて相手を理解し、思い切ってお願ひすること・されることにより、仕事も一歩進むかもしれません。勇気付けられて明日から行動を変えてみようか、と思えるセミナーでした。



育児支援

1 医学部学生見学会

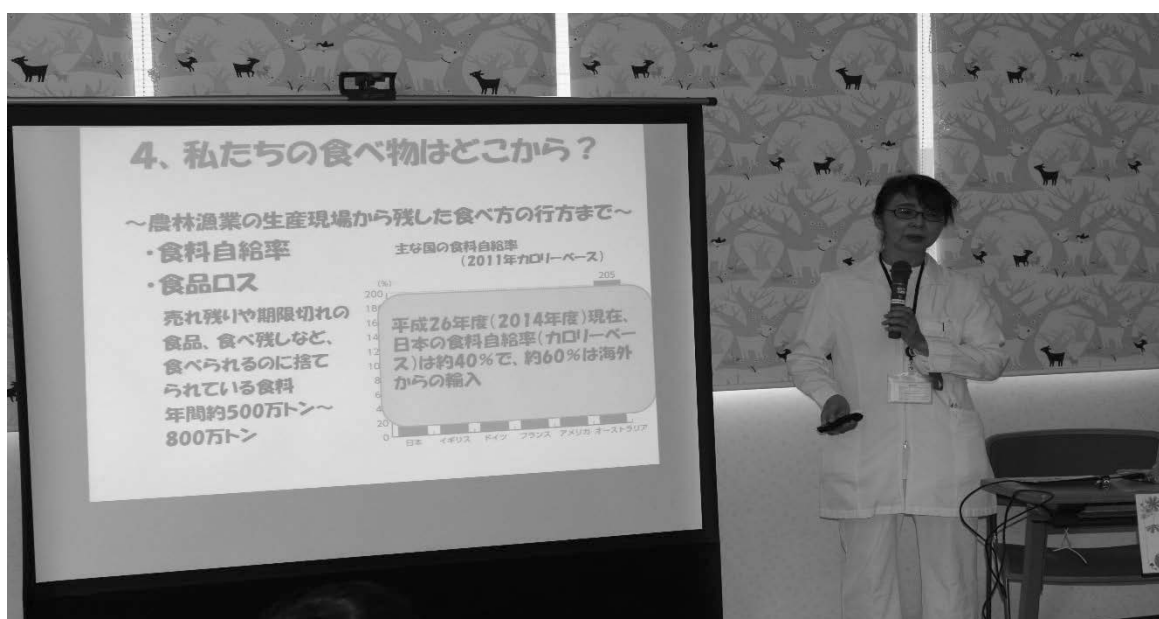
医学部学生が、社会学の一環として保育ルームの見学を行いました。

5月29日、30日の2日間実施し、医学部1年生合計34名の学生が参加しました。



2 育児支援講演会 「パパとママの食事のはなし」

平成29年10月3日、臨床栄養部栄養管理室長 佐藤敏子先生から、保育ルーム利用会員を対象に、“食物アレルギーのはなしあれこれ”をテーマに講演会を実施しました。



3『ファーストエイド講習会』の開催について

平成 29 年 6 月 23 日（金）10 時から 12 時まで医師・研究者キャリア支援センター会議室において情報センター講師浅田義和先生よりご講演頂きました。

参加人数は「保育ルームあいりす」のサポート会員、スタッフあわせて 12 名でした。

内容は、アナフィラキシーについて・エピペンの使用方法・手袋の外し方・打ち身・捻挫・出血・蜂に刺された時の対処方法・熱中症対策などを動画・実技を交えながらの講義でした。参加者からの質問にもわかりやすく回答してくださり、アンケート結果でも「自分がけがをして初めてファーストエイドの重要性を知ることになった。」「確認のためにも定期的に講習を受ける必要がある。」という意見が出るなど、有意義な講演会となりました。



4 BLS（救急蘇生法）研修会

保育サポーター、保育士等を対象にメディカルシミュレーション

センター教員による講習会を平成 29 年 12 月 4 日、8 日、11 日、21 日に 4 回に分けて実施しました。



5 「小児科の医師からパパ・ママに伝えたいことーパート7ー」の開催

11月29日、当保育ルーム「あいりす」の園医である、熊谷先生から講演を行っていただいた。テーマは「子どものアレルギーに関する最近の話題」として、園医の専門分野も含めてお話をされた。参加者は、育休中の看護師や利用会員10名、スタッフ7名の合計17名、同伴の子ども7名であった。ほとんどの参加者が医療職であったため内容も専門的な内容とした。アンケートからは、育休中の看護師が多く子育て中の話題にマッチしており、「離乳食の時期であり、食物アレルギーの話題は参考になった」「アトピー性皮膚炎の理解ができ、保湿などスキンケアの重要性を改めて認識した」などの意見が多かった。「お腹のアレルギーの赤ちゃん」については、腸内細菌などの具体的なデータを交えて説明があり、今まで知識として知らなかった方が多く、新しい知識の習得につながった様子であった。



6 夏祭り

8月5日 保育ルーム「あいりす」で夕涼み会を開催しました。

当日は、19家族49名（スタッフ含む）の参加がありました。



7 クリスマス会

12月25日 保育ルーム「あいりす」でクリスマス会を開催しました。

当日は、7家族41名（ボランティア含む）の参加がありました。



8 保育サポート会員懇親会の開催

平成30年1月26日（金）12時から、保育サポート会員懇親会が会議室で実施されました。

当日は18名のサポート会員の出席があり、1月より「あいりす」の保育士となった海老原さんと中野さんの自己紹介の後、精神科の黒鳥偉作先生から、「こころの健康を保つために」と題して、講話がありました。

講話の内容は、「心の健康（メンタルヘルス）とは、ストレス要因を知ること、ストレスをマネジメントすることが必要であり、そのためには、健康的な生活、良い睡眠を心がけること、また心の仕組みを知ることが大切である。また、物事の見方や考え方に偏らないバランス思考をもって生活することが重要であるが、周囲の方がその人の変化に気づいたらお互いに積極的に声を掛ける、話を聞くなどして、共感的に理解すること、受け止めてあげることを心がけましょう。」等の内容でした。黒鳥先生は、当初予定した加藤先生が体調不良だったため、その代役でしたが、とてもわかりやすく、時々ユーモアを交えての講話でした。

講話後、サポート会員の方々とセンター長、園長、「あいりす」スタッフ等と食事をしながら、懇親を深めることができました。



地域医療従事医師支援

地域医療従事医師支援は、女性卒業生支援として地域医療推進課を窓口として実施しています。卒後指導委員会では、出産・育児と勤務を両立しながら円滑に義務年限を果たしてもらうことを目的として女性支援事業に取り組んでいます。

平成 24 年度からは、「卒後ワークライフバランス（卒業後の勤務と結婚・出産・育児との調和）」について考えることを目的に、学外から講師（卒業生）を招聘し、講演会と懇親会を適時開催しています。

平成 29 年 6 月 11 日（日）午前 10 時から医学部学生寮大ラウンジにおいて、卒後ワークライフバランスについて考える会 2017 in Jichi が開催されました。

今回は「地域でのワークライフバランスとキャリアを支える」をテーマに、本学卒業生の吉村裕子先生（東京都 25 期：(医) 益城病院勤務）、紙本美菜子先生（鳥取県 31 期：南部町国保西伯病院勤務）、加藤一朗先生（島根県 21 期：隠岐病院勤務）を招聘し、講演いただきました。

会場には教職員、医学部学生などが多数参加し、卒業生の発表を熱心に聴講していました。



附属病院事業

平成 29 年 9 月 21 日（木）研修センター大会議室において、第 3 回 All Jichi Project（若手医師交流会）が開催されました。この会では、診療科の垣根を超えた意見交換が行われました。（以下～出された意見を抜粋）



① 今の診療科を選んだ理由について

- ・治療の効果がわかりやすく、症状を改善することで患者さんに喜んでもらえる、基本的に QOL に関わる診療科なので、整形外科を選んだ。
- ・医学部を目指した理由が「目の前で倒れた人を助けたい」だった。救急、外科、集中の 3 つを基本の考え方とする” Acute care surgery “という考え方を知り、実現のため救急を選んだ。
- ・女性が中心となるが、生まれる前から墓場まで、いろいろな場面を見ることができるから、産婦人科を選んだ。

② 研修医教育で気を付けていること

- ・自分がされて嫌だったことはしない。嬉しかったことをしてあげるように意識している。
- ・自分の時にどんなことをしたかったか、どんなことがやりたかったかを思い出し、今の研修医にさせてあげられるようにしている。
- ・研修医だけでなく、病棟の他のスタッフが声をかけやすいような姿勢でいるよう心がけている。（結果的に他の研修医も聞きやすくなるから）
- ・個人の考え、希望をよく聞いて、あまりストレスにならない教育を心がけている。

③ その他

- ・どの診療科を選ぶにしても、積極的な姿勢で取り組むことが重要。
- ・自治医大は common disease から希少な症例まで診られる。やりたいことがあれば、比較的何でもできる環境にあるので、ぜひいろいろチャレンジしてほしい。
- ・診療終了後に、時間をかけて上級医から教えてもらうことを望むかとの問いには、研修医の意見は、忙しくても行くという意見と自分の時間がほしいという意見まで様々であった。

News Letter

医師・研究者キャリア支援センター Vol. 24 2017/5/15

新園医(保育ルーム「あいりす」)就任あいさつ



小児科准教授 熊谷 秀規
平成29年4月に、保育ルーム「あいりす」園医を拝命いたしました。
保育ルーム「あいりす」は、育児支援部門として自治医科大学に勤務する教職員のキャリア支援や就労支援を目的に運営しています。当保育ルームを利用されるお子さんが安心して時間を過ごせるよう努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

医師・研究者キャリア支援センターでは、皆さんのキャリア支援のご相談に応じています。何なりとお気軽にお問い合わせください。また、保育ルームでは看護師が常駐し園医との連携をとりながら、お子様の対応をしています。

平成29年度支援担当者

センター長 小宮根 真弓准教授 コーディネーター 石川 由紀子講師
アドバイザー 山形 崇倫教授 黒須 洋准教授 小川 真規准教授
鴨下 信彦講師 小形 幸代講師 川合 志奈助教授
保育ルーム「あいりす」園医 熊谷 秀規准教授 園長 上野 久子

「次世代医師・研究者交流会講演会」が開催されました！

平成29年2月14日(火) 18:00~19:00

於：教育・研究棟1階講堂

第12回次世代医師・研究者交流会講演会が開催されました。今回は、国際的に活躍されています黒川清先生(日本医療政策機構代表理事、政策研究大学院大学客員教授、東京大学名誉教授)をお招きし、今後の日本や世界の医療政策の動向を知ること、世界に羽ばたくことの重要性をメインテーマとし



『Giving Back to You』と題して講演頂きました。壇上にジャンプで登壇するという黒川先生の若々しさに驚くとともに、豊富な経験から得られた熱い思いのお話に会場は大いに盛り上がりを見せました。



また、講演会終了後の懇親会においても若手医師・研究者・学生からの積極的な質問に真剣に答えていらっしゃる黒川先生のお姿がとても印象的でした。

Jichi Joy Café (通称:JJc)

平成29年3月10日(金) 12:15~13:30

於：医師・研究者キャリア支援センター会議室

今回は、教員・医師・シニアレジデント・リサーチレジデント医学生・院生など様々な立場の方にご参加いただきました。参加者自己紹介、今後予定する「女性医師・研究者の働く環境に関するアンケート(案)」の提示についての説明の後、解剖学部門教授の野田泰子先生、小宮根センター長より、「大学病院における女性医師・研究者のキャリア」について実体験を基にご講演頂きました。和やかな雰囲気の中、参加者の皆様から多くのご意見を頂き活発な情報交換をする事が出来ました。



総合防災避難訓練



平成29年2月17日(金)15:00~15:30

於：自治医科大学2号館

自治医科大学2号館にて総合防災訓練を実施致しました。震度5強の地震発生後、3Fのマクドナルドハウスキッチンから出火したと想定し訓練が始まりました。保育ルームでお預かりしていたお子さんの中には火災ベルの音にビックリして泣きだしてしまう子もいましたが、保育士さんの普段と変わらぬ優しい声に直ぐに泣き止んでおとなしく訓練に参加してくれました。通報連絡、初期消火、避難誘導など各自所定の役割分担を迅速に行い、無事全員避難完了する事ができました。

小児科の医師から「パパ・ママに伝えたいこと」講演会が開催されました

平成29年2月8日(水) 12:00~13:00

於：医師・研究者キャリア支援センター会議室



小児科 金井孝裕准教授(保育ルーム「あいりす」園医)より「パパ・ママに伝えたいこと」と題して緊急時の病状判断や対処方法についてのご講演がありました。救急外来の4分の1が小児科であることから、①高熱 ②咳 ③腹痛 ④嘔吐の項目についてどのような症状の時に緊急性があり病院での受診が必要かという内容でした。参加者の皆さんからは、【とても

分かりやすく、不安が和らぎました】【高熱・咳は夜間にオロオロと不安になった経験があるので、判断基準が出来よかったです】【勉強になりました。特に嘔吐した際の消毒・洗濯の仕方が参考になりました】等、身近な内容に好評でした。



＜平成29年度予定＞

- 7月 サポート会員交流会
- 8月 「あいりす」夕涼み会
- 9月 ワークライフバランス講習会・院生ワークショップ
- 10月 パパ・ママと子どもに伝えたいこと
- 12月 サポート会員懇談会・「あいりす」クリスマス会
- 2月 次世代医師・研究者交流会講演会

※Jichi Joy Café (6月、11月、翌年3月開催)

医師・研究者キャリア支援センター
内線：2448
mail: career-support@jichi.ac.jp

保育ルーム「あいりす」
内線：2445
直通：0285-58-7572



News Letter

医師・研究者キャリア支援センター Vol. 25 2017/10/17

★保育ルーム「あいりす」に 防犯壁 が設置されました！

保育ルーム「あいりす」では、7月10日(月)より不審者侵入防止対策といたしまして、防犯壁を設置致しました。設置後は、「あいりす」の入口ドアはキーレックスで施錠されていて、中からしか開ける事が出来ません。ご用の方は、ドアの前に設置されていますハンドベルで呼び出していただき、職員がご用件等を確認させていただいてからドアを開錠いたします。「あいりす」がございます2号館は、1階がレストランや介護用品販売店、院外薬局、3階がマクドナルドハウスに挟まれている環境上、さまざまな方々の出入りがありますが、防犯壁による出入口の侵入者管理強化が整いました。今後もより一層の環境整備に努めて参りますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

ボランティアの方々に設置をせわらしくご協力して頂きました



★ファーストエイド(応急処置)講習会

2017.6.23 於：センター会議室

平成29年6月23日(金)10時から12時まで医師・研究者キャリア支援センター会議室において情報センター講師浅田義和先生よりご講演頂きました。参加人数は「保育ルームあいりす」のサポート会員、スタッフあわせて12名でした。内容は、アナフィラキシーについて・エビペンの使用方法・手袋の外し方・打身・捻挫・出血・蜂に刺された時の対処方法・熱中症対策などを動画実技を交えながらの講義でした。参加者からの質問にもわかりやすく回答してくださり、アンケート結果でも「自分がけがをして初めてファーストエイドの重要性を知ることになった。」「確認のために定期的に講習を受ける必要がある。」という意見が出るなど、有意義な講習会となりました。



消防防犯急と応急処置

看護師

★新入学生の保育ルーム「あいりす」見学会

2017.5.29~5.30 於：あいりす

社会学 青山准教授指導による新入学生の保育ルーム見学会が開催され、34名の新入生が見学に訪れました。「安全な保育のためにどのような工夫をしていますか?」「お子さまの気に入っている遊具はどんなものですか?」など様々な質問を頂き、保育ルームへの関心の深さを感じられました。保育ルームからは、制作物作成やイベント当日のお手伝い等についての、協力依頼を致しました。



保育ルーム「あいりす」事務局

★第4回 Jichi Joy Café (通称 JJc)

2017.6.27 於：センター会議室

「みんなで考えよう!~キャリアを継続させるノウハウ~」

「キャリア継続困難に直面した時」と題しまして、第4回 Jichi joy cafe を開催致しました。医師の立場から地域医療学センター 石川由紀子先生、研究者の立場から神経脳生理学部門 高柳友紀先生にご講話を頂きました。実体験を基に得たキャリア継続のノウハウやご意見は大変説得力のあるもので、これからキャリア形成を考える学生やキャリア継続に少しでも不安をお持ちの方々にとても参考となりました。また、今回初めて男性!のご参加もいただきまして、様々な立場からの意見交換が出来たことも良い収穫となりました。



※詳しい内容をHPに公開しております。是非ご覧ください。

★保育ルーム「あいりす」なつまつり

2017.8.5 於：保育ルーム「あいりす」

毎年恒例の夕涼み会を、今年度は「なつまつり」として致しまして昼間の時間帯に開催いたしました。当日は、19家族49名の参加者で賑やかにスタートしました。乳児コーナーに、手作りのバスを用意しましたが取り合いになるほどの人気ぶり。光の水族館では、お化け屋敷と勘違いして怖がってしまうお子様も見られましたが、暗やみにキラキラ輝くおもちゃを見るとたちまち笑顔に変身し、子供たちは大喜び。後半は、工作シアターやマジックショーを楽しみました。マジックショーの中での初めての皿回し体験に子供たちは大興奮でした。来年も開催いたしますので、是非楽しみにして下さい。

保育ルーム「あいりす」事務局

★サポート会員交流会

2017.7.7 於：医師・研究者キャリア支援センター会議室

毎年恒例の「サポート会員交流会」を開催いたしました。当日は、病児研修会、緊急時の対応シミュレーション動画視聴、防犯対策として刺す股使用の実施訓練、七夕の折り紙制作講習会と盛りだくさんの会となりました。サポート会員が一同に顔を合わせ、会員同士での情報共有や親睦を深める大変良い機会となりました。

保育ルーム「あいりす」スタッフ

＜今後の行事予定＞

- 11月17日 第5回 Jichi Joy Café
- 11月29日 小児科医からパパ・ママに伝えたいこと
- 12月 「あいりす」クリスマス会
- 1月 サポート会員懇談会
- 2月9日 次世代医師・研究者交流会講演会
講師：順天堂医院 院長 天野 篤 先生
- 3月 第6回 Jichi Joy Café

医師・研究者キャリア支援センター
内線：2448
mail: career-support@jichi.ac.jp

保育ルーム「あいりす」
内線：2445
直通：0285-58-7572



News Letter

医師・研究者キャリア支援センター

Vol. 26 2017/12/22

＋働き方を考えるセミナー 「～自分らしく輝くために～」

2017.10.19 於：教育研究棟 1F 講堂

今年度は、「ワークライフバランス講演会」改め「働き方を考えるセミナー」と致しました。
講師：吉田 穂波 先生／神奈川県保健福祉局 技幹・保健福祉大学 准教授・産婦人科医
演題：「時間がない」から何でもできる！

吉田先生のお話は、色々な制約の中、今日この講演会に出席してくれて「ありがとう」の、感謝の言葉から始まりました。参加者の内面に閉じ込めた様々な事情をすべて呑み込んでくれるかのような、語りかける様な優しい口調にセミナーの会場は、すぐに吉田 world に包まれた感覚でした。中でも、「愛護力」のお話は、人を信頼し頼ること、人と人の繋がり大切さを気づかせてくれるお話でした。講演会では、参加者がお隣の座席の方と「ペアワーク」で、愛護力を身に付ける練習を行いました。とても和やかにそしてあっという間に 1 時間の講演時間が終了いたしました。

開催後アンケートでは、「楽しく内容のある事を学ぶ事が出来た。物事の捉え方や視点、考え方など目から鱗が落ちる感じでした。吉田先生ご自身のお話をもっと聞きたかったです。」等々参加者の方々から、大変ご好評をいただきました。

※セミナーの模様は、自治医科大学 HP 図書館オンデマンドよりご覧いただけますので、是非ご覧になってください。
<http://stream0.jichi.ac.jp/pcweb/contents-list.do>



＋「パパ・ママと子どもの食事のはなし」パート 8

2017.10.3 12:00～13:00 於：「あいりす」保育ルーム

臨床栄養部の佐藤敬子栄養管理室長と中村めぐみ管理栄養士を講師としてお招きし、「食物アレルギーのはなし・あれこれ」のテーマで講演を行いました。33 名の方が参加され、特に保育中の看護婦が多かったことから、今回のテーマはタイムリーな話題の提供となりました。佐藤室長から「共食」の大切さについて話され、参加したほとんどの方から、「普段の自分に重ね合わせ、これからの食事のあり方を見直すいい機会となった」という内容の感想が述べられていました。皆さんがご希望されたヘルシー弁当も好評でした！



⇒ 看護婦

＋小児科医からパパ・ママに伝えたいこと Vol.7

「子どもの病気のホームケア」

2017.11.29 12:00～13:00 於：センター会議室

当保育ルーム「あいりす」の園医である小児科准教授熊谷規先生から講演を行いました。テーマは「子どものアレルギーに関する最近の話題」とし、17 名が参加されました。ほとんどの参加者が医療従事者であったため、専門的な内容となりました。アンケートからは、「離乳食の時期であり、食物アレルギーの話題は参考になった」「アトピー性皮膚炎の理解ができ、保湿などのスキンケアの重要性を改めて認識した」などの意見が多くありました。「お肌のアレルギーの赤ちゃん」について、腸内細菌などの具体的なデータを交えて説明があり、今まで知識として知らなかった方が多く、新しい知識の習得につながった様子でした。



⇒ 看護婦

＋第 5 回 Jichi Joy Café (通称 JJc)

2017.11.17 12:30～14:00

於：センター会議室

テーマ：「ダイバーシティの推進について考えよう～」



第 5 回 Jichi Joy Café を開催致しました。
抗加齢医学研究部の黒須 洋先生より「継続して働くノウハウ？」・患者サポートセンター入退院支援室の上田真寿先生より「介護！！その時あなたはどうか・・・」と題しましてご講話を頂きました。
Jichi Joy Café に初めて男性の先生を講師にお迎えいたしまして、いつもとは違った視点から貴重なお話を伺うことが出来ました。

また、家族の介護に正面から向き合いながらも医師としての勤務を継続されたお話や、医局内においての女性医師の働き方の工夫事例は、参加者全員に大変参考となりました。当センターでは、皆様の貴重なご意見を集約できるように、引き続き活動を続けていきたいと思います。

※詳しい内容を HP に公開しております。是非ご覧ください。



＋日本医師会主催 「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」

ーより良い男女共同参画を目指してー

2017.9.29 於：日本医師会館 大講堂

平成 29 年 9 月 29 日に日本医師会館にて日本医師会 女性医師支援センター

主催「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」が開催されました。日本医師会常任理事 今村定臣氏による日本医師会女性医師支援センターの取り組みの発表、女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告に引き続き、「より良い男女共同参画を目指して」をテーマに、大学として、岡山大学と本学の 2 大学、学会の取り組みとして日本内科学会、日本外科学会の 2 学会より発表がありました。本学の取り組みとして、当センター コーディネーターの石川由紀子先生が発表を行いました。意見交換会では、参加者から大きな反響があり、マンツーマン保育と良心的な保育料など保育ルーム「あいりす」の活動は都内の保育サポート機関にすると、驚きのシステム・サービスであり活用すべきとの意見がありました。サポート会員の皆さんが、趣旨を理解し貢献されていることも注目されました。他機関の取り組みは今後の当センターの活動に役立てたいと考えています。中でも、目標に社会貢献を掲げており、支援を受けた女性医師が地域医療で活躍しておられる岡山大学のサポートは、一歩先を行くすばらしいもので、他大学の指標となるものでした。



＜ 今後の行事予定 ＞

- ・ 12 月 25 日 「あいりす」クリスマス会 ★
- ・ 1 月 26 日 サポーター会員懇談会
- ・ 2 月 9 日 次世代医師・研究者交流会講演会
講師：順天堂大学医学部附属順天堂医院
院長 天野 篤 先生
- ・ 3 月 未定 第 6 回 Jichi Joy Café

医師・研究者キャリア支援センター
内線：2448
mail: career-support@jichiac.jp

保育ルーム「あいりす」
内線：2445
直通：0285-58-7572



News Letter

医師・研究者キャリア支援センター

Vol. 27 2018/ 3/30

第 13 回「次世代医師・研究者交流会」講演会

2018.2.9. 於：地域医療情報研修センター大講堂



2 月 9 日(金)地域医療情報研修センター大講堂にて、第 13 回「次世代医師・研究者交流会」講演会を開催しました。
今回の交流会では、順天堂大学医学部附属順天堂医院院長天野篤先生をお招きして、

「**兼路は続くよ、どこまでも外科医のレールを、いつまでも**」と題してご講演頂きました。天野先生は、心臓を動かしたまま行うオフポンプ手術の第一人者であり、これまで執刀した患者数は 7,500 例以上、天皇陛下の心臓手術を執刀された事で大変有名な先生のご講演という事で、学内外から大勢の方々にご来場いただきました。講演では、実のお父様を心臓外科で亡くされたご経験から一人でも多くの患者さんを救いたいという事に、誠心誠意を注いでいらっしゃる事が、熱く伝わってきました。そして、60 才を過ぎても外科医として現役第一線を突き進み、また、超多忙な中今回の様な講演会活動により、若手医師や後進者へのメッセージを発信し続けるパワーに只々驚愕致しました。講演を聴講頂いた方々からは、「人生の転機は、自分の強いモチベーションにあると感じた。」「プロフェッショナルとバイタリティー。」「自分の志の低さを改めて見つめ直すきっかけになりました。自分の進む道について真剣に考えたいと思います。」等々、先生の医師としての生き方に刺激されたお声をたくさん頂きました。

※講演会の模様は、自治医科大学 HP 図書館オンデマンドよりご覧いただけます。視聴期間限定となっておりますので、お早めにご覧ください。



＋第 6 回 Jichi Joy Café (通称 JJc)

2018.3.23 12:30～14:00

於：地域医療情報研修センター 第一研修室

テーマ：「各医局・研究室での働き方に関する情報の共有に向けて」

今回は、産婦人科の藤原寛行先生をスペシャル講師にお迎えいたしまして、「産婦人科での女性医師の働き方の現状と取り組み」を、ご講話いただきました。産婦人科の取組は、①現状を知る ②お互いがお互いの立場を尊重する ③歩み寄る(対立構造を作らない)を念頭に、育児中の女性医師も他の医局員もどちらもが居心地良く仕事を継続出来る環境作りの構築に力を入れたものでした。参加者の皆さんからは、「女医の現状、今後の復帰後の働き方など色々考えてくださっていることが、とても有難いと思いました。」「科全体で取り組んでいることが、いい雰囲気作りになると思います。」「色々考えていただき涙が出そうでした。」「等々の感想が寄せられました。産婦人科の取組を知って、この様に理解してくれるようにしてくれる上司の存在こそが医局員の大きな「ワーク」になる事は間違いないと強く感じました。また、このような取り組みが優秀な人材の確保、育成にも大きく影響するのではないのでしょうか。



「ポーズで記念撮影」♪

＋保育ルーム「あいりす」クリスマス会

2017.12.25.

於：保育ルーム「あいりす」

12 月 25 日(月)保育ルーム「あいりす」にて、41 名の方々が参加してくださり毎年恒例のクリスマス会を開催いたしました。

昭和ケアの稲田美和子さんのとてもやさしい音色の二胡演奏や上野園長のドッキリ



マジックショー、保育士さんのお話ボード

サポーター会員の皆さんのピアノ演奏に合わせて「赤鼻のトナカイ」を合唱したりと盛り沢山の楽しい時間を過ごしました。サンタさんからのクリスマスプレゼントを一人一人に頂き、最後にとってもおいしいケーキも食べて、子供たちも大満足でクリスマス会が終了しました。



＋救急蘇生講習会 (BLS)

2018.12.4.11.21(4 日間) 於：メディカルシミュレーションセンター

今年度の救急蘇生 (BLS) 講習会は、12 月 4, 8, 11, 21 日の 4 日間に分けてシミュレーションセンターで行い、参加者は保育ルーム「あいりす」サポート会員とスタッフ合わせて総勢 26 名が参加しました。

情報センターの浅田義和先生、シミュレーションセンターの前田佳孝先生お二人の先生に実技を交えながら丁寧に指導頂きました。参加者からは「毎年受講しているが忘れていたことが多く、繰り返し復習することが救急時には大事だと感じた」などの意見を頂きました。皆さんの意欲の高さを感じる講習会となりました。

これからも同講習会の定期開催により、救急蘇生法の技術定着を今後もサポートしていきたいと思います。



⇒ 看護婦

総合防災避難訓練

平成 30 年 2 月 22 日(木)15:00～15:30 於：自治医科大学 2 号館

自治医科大学 2 号館にて総合防災訓練を実施しました。

震度 5 強の地震発生後、3F のマクドナルドハウスキッチンから

出火したと想定して訓練が始まりました。

「通報連絡」、「初期消火」、「避難誘導」など

各自所定の役割分担を迅速に行い、無事全員避難完了する事ができました。



医師・研究者キャリア支援センター
内線：2448
mail: career-support@jichiac.jp

保育ルーム「あいりす」
内線：2445
直通：0285-58-7572



統計(2017年度)

① 短時間勤務者(医師)

- ・ 20 時間時短勤務利用者数 24 名
- ・ 育児短時間勤務者数 6 名

② 保育ルーム「あいりす」

- ・ 利用件数 1,805 件
- ・ 利用会員数 169 名
- ・ サポート会員数 33 名

③ Jichi Joy Café

- ・ 第4回(H29.6.27)参加者 19 名
- ・ 第5回(H29.11.17)参加者 18 名
- ・ 第6回(H30.3.23)参加者 24 名

④ All JIchi Project(H29.9.21)参加者 55 名

⑤ 「働き方を考えるセミナー」(H29.10.19)聴講者 94 名(男 26, 女 68)

⑥ 「次世代医師・研究者交流会 講演会」(H30.2.9)聴講者 332 名(男 206, 女 126)

医師・研究者キャリア支援センター活動報告書（2017）

平成 31 年 1 月（発行）

発行元 自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター

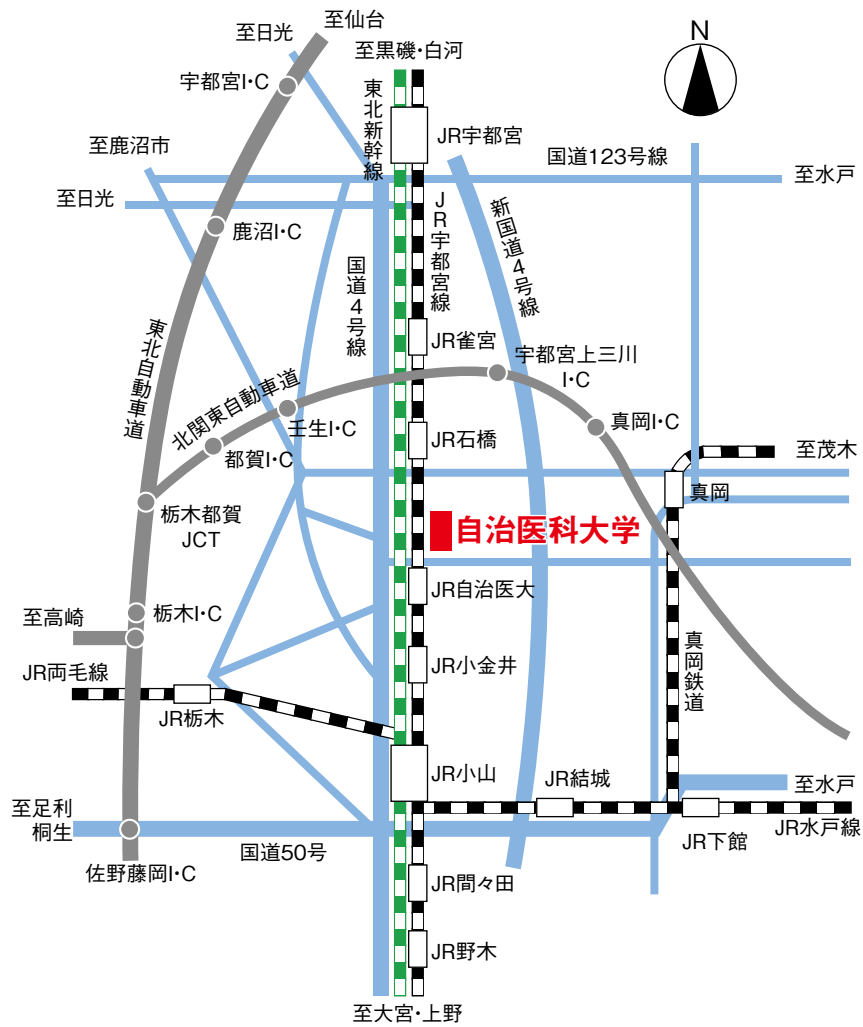
＜連絡先＞

T E L 0285-58-7561

F A X 0285-44-8627

career-support@jichi.ac.jp

アクセスマップ



JR 自治医大駅より徒歩10分